

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870300880
法人名	有限会社 ひだまりの会
事業所名	グループホーム いぶき
所在地	宇和島市伊吹町甲1368-3
自己評価作成日	平成23年2月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年2月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

共に寄りそって助け合う、明るいホームです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

入居前にお世話になっていたご自宅の近所の友人宅を職員と訪ねて、2時間ほどお話をして帰られたこともある。職員と、ご自宅がある地区の秋祭りに出かけた利用者もいる。又、地元の馴染み深い神社や公園等に出かけることもよくある。
事業所の各所に季節の花を飾っておられる。言葉が出にくい利用者が、居室にお花を飾ると「きれいだな」と、はっきり言ってくださり、職員は感激されたようだ。
魚の好きな利用者が多くおられ、日曜・祭日以外は、毎日魚屋の車が玄関前まで来てくれ、利用者と一緒に選んで夕食のおかずに使われている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 (有) ひだまりの会

(ユニット名) グループホーム いぶき

記入者(管理者)

氏名 田中 ちとせ

評価完了日

平成23年2月7日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価) 十分とはいえないが努力している	この機会に、地域密着型サービス事業所として地域の中で、 事業所が「どうあるべきかという姿」を、職員で話し合ってみ てほしい。又、職員・ご家族・地域の方達と共有して、ともに 理念の実現に向けて取り組みをすすめていかれてほしい。
			(外部評価) 事業所理念に、お年寄りに「寄り添い」生活そのものに「つき あう」と掲げて、スローガンには「ありがとうと感謝し、助け合 い、楽しい毎日でありますように」と決めておられる。前回の 評価実施後「地域に根差した理念を作ろう」と職員と話し 合って来られたが、職員の入れ替わり等のこともあり、現在取 り組みの途中となっている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価) 十分とはいえないが交流している (花火、いもたきを近所の方々とホームで)	
			(外部評価) 近所の方は、利用者のお話し相手のボランティアに来てくだ さっている。事業所では「花火」「芋炊き」のイベントを行われ ており、地域の方達の楽しみとなっており、近所の子も達 や保護者の方を招待して、にぎやかに行われている。近所 の方から、打ち上げ花火等の大きな音が気になるので「今度 から前もって町内放送で知らせたらどうか」と助言をいただ いた。新しい利用者の入居をきっかけに、今後、回覧版を利用 者と一緒に回したり、地域の溝掃除にも利用者と参加したい と考えておられた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価) あまり出来ていない	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)	<p>他ホーム、市職員さんからのアドバイスを聞き活かしている</p>
			(外部評価)	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>運営推進時以外には連絡は取っていないが、包括からの要請により一時入居されていた時には連絡をしていた。</p>
			(外部評価)	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>取り組んでいる。</p>
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 努めている	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) あまりしていない	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 行っている	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 充分ではない。 (外部評価) 敬老会やクリスマス会時には、ご家族が大正琴を披露してくださり、皆で歌を歌ったり、ピンゴゲームをして楽しい時間を過ごされた。ご家族からは「預かってもらうだけでありがたい、お任せします」という声が多いようだが、ご家族の中には「ここにずっとおれるんやるか」という心配を持っておられる方もいるようだ。	地元から入居している利用者も多くなり、近くに住むご家族も増えてきたようだ。管理者は「できるだけ多くのご家族に運営推進会議に参加していただきたい」と考え、今後、積極的に「声をかけていきたい」と話しておられた。事業所を利用する側であるご家族の声は、事業所のサービスをよくするためのきっかけにもなり、多くの声を引き出す工夫に努め、運営に反映していかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			ミーティング、又、その時々意見を大切にしている	
			(外部評価)	
			職員が出勤時に行うことになっている掃除等の業務は、利用者の状態もあって利用者のケアに当たることを優先し、時間をずらすことになったようである。備品等を収納していた部屋を「静養室」に整え、ソファを置いて職員が休めるようにされていた。手芸が得意な職員が作った手芸作品が、居間や居室の壁に飾られてあり、2ヶ月に1回、季節に合わせて模様替えをされている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			十分とはいえない	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			十分とは言えないが取り組んでいる (外部研修に行った者が、内部研修を行っている)	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			管理者は運営推進会議等で交流もあるが、職員はなかなか交流する機会が少ない。研修等で他のグループホームとの交流を図るよう努めている	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			十分とはいえないが努めている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 充分とは言えないが努めている	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 家族より話を聞き努めている	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 十分とは言えないが努めている	
19		本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 充分とは言えないが努めている	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 充分とは言えない 面会に来て頂いた方に、また、来て頂けるよう声を掛けている。馴染みの場所には時々しか行けていない (外部評価) 入居前にお世話になっていたご自宅の近所の友人宅を職員と訪ねて、2時間ほどお話をし帰られたこともある。職員と、ご自宅がある地区の秋祭りに出かけた利用者もいる。又、地元の馴染み深い神社や公園等に出かけることもよくある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 十分ではないが努めている	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 家族からの相談等はないが、様子を伺う事はある。亡くなられた方のご家族と少しではあるが、お付き合いがある	
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 十分とはいえないが努力はしている 希望があってもなかなか叶えてあげられない時もある (外部評価) ご本人のこれまでのことをご家族から聞き取ったり、利用者ご本人にも聞いておられるが、なかなか十分な情報を得にくいようであり、日々、利用者とかかわる中で「分かったこと」を記録に残していくようにされている。ご本人とお話の中で、これまで聞いたことがなかった人物が登場することもあるようだ。	管理者は「利用者の思いを表してもらえるような職員の言葉かけや対応をしたい」と考えておられる。利用者主体のケアを実践していくためにも、職員の利用者へのかかわり方や場面作りに努め、アセスメントして、利用者個々の思いや意向の把握に努め、ご本人らしい暮らしを続けられるよう、介護計画につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時のお話の中で少しは把握できるが十分ではない 一緒に暮らしていく中で少しずつ把握ができています	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 体の調子を訴える事が出来ない方は、朝のバイタルチェック等を参考にしている 十分ではないが努めている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ミーティング等で話し合い行っている</p> <p>(外部評価)</p> <p>転倒・嚥下障害・肺炎等、利用者の状態変化に応じてその都度、介護計画を変更されている。計画は、ご家族の来訪時に見ていただくようにされている。又、遠くに住むご家族には郵送され確認していただいている。変化がなければ、6~8ヶ月で見直すようになっている。口から食べることが難しくなってきた利用者にも時間をかけて口から食事ができるよう介護計画を作成されている事例があった。</p>	<p>ご家族に介護計画についてご意見をうかがっておられるが、「お任せします」と言われるご家族が多いようである。ご本人の暮らしを支えるパートナーとしてご家族の協力を得ながら、ご本人のより良い暮らしを支援する計画を作成していかれてほしい。又、利用者の生活を広げていけるような計画の作成にも努めていかれてほしい。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>活かしている</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>全員のニーズには答えられてないが、少しずつ心掛けている</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>あまり出来ていない</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>認知症を理解してもらっている協力医に月2回の往診に来てもらい指示を仰いでいる</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>近くの開業医に月2回往診していただき、何かあると協力をいただいているが、協力医としての位置付け等、書類等の変更はこれからである。退職された看護師資格を有する人が、週1回 8:30～12:30の間、来られて利用者全員の「バイタル・身体状況・精神状態」をみて、助言や記録をしてくれている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>週1回4時間の勤務だが、気付き等、介護職員に伝え受診等支援している</p>	
			<p>(外部評価)</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>努めている しかし骨折の場合、もう少しリハビリをしてもらった方がいいのではないだろうかと思えます</p>	
			<p>(外部評価)</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>取り組んではいるが、なかなか難しい問題である。 馴染みのホームで最後まで暮らしてもらいたいのだが</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>法人代表者は、看取り支援の必要性を強く感じておられ、看取りの指針を作成しておられる。ご家族からは「できれば最期までホームでいたい」「ここで看取りをしてほしい」と希望されている方が多いようだ。管理者は、職員のスキル等を含めて、事業所での受け入れ体制に「不十分さ」を感じる面もあり、ご家族に協力いただきたいと思っておられる。</p> <p>看取り支援についての希望に沿えるような事業所の体制を整えていくためにも、ご家族の協力の必要性等も含めて、事業所のできることを具体的に伝えながら、ご家族や職員で話し合う機会を作ってみてはどうだろうか。ご家族が不安や心配に思っていること等も聞き、事業所の取り組みを検討していかれてほしい。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) できていない (訓練計画中)	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 十分にはできていない (年2回の訓練を行っている)	
			(外部評価) 昨年11月にスプリンクラーを設置され、毎年1回は、消防署指導の避難訓練を実施し、又、1回は、防災設備会社の協力で避難訓練を実施されている。職員の採用時には、火災通報装置を実際に押す訓練も行われた。消防団は、事業所からは遠いため、緊急時は、まず、近所の方に協力いただけるようお願いされており、戸を開けて呼べば駆け付けてくれるようになっている。避難訓練にも参加していただいた。夜勤1名の時間帯の避難等、安全の確保が現在は検討課題となっている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) している	
			(外部評価) 前回の外部評価結果を受けて、職員は、利用者の排泄の声かけはご本人の耳元で小さな声で行うようにされている。又、失禁時の対応等は「お部屋に行きましょう」と、居室で着替えを行えるよう誘導されている。運営推進会議にて実名を使うことに関しては、最初にご家族の了解を得るようにされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 意思表示がなかなか出来ない方もおられる難しいこともあるが、少しでも出来るよう声かけている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 十分には出来ていない	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価) 十分ではないがしている	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 十分とはいえないがしている 一人ひとりの希望は叶えられていないが、「あー美味し かった」との声が聞こえると職員も嬉しくなる	
			(外部評価) ものを飲み込む機能が低下している利用者が増え、とろみを 付けたり、ムース状にする等、調理に工夫したり介助に時間 をかけながら、できる限り口から食べることを支援されてい る。好きな物しか口にされないような利用者もおられ、ご本 人が甘いものが好きだったことを活かして、水分に甘味を 付けて飲んでいただけるようになった事例もある。魚の好き な利用者も多くおられ、日曜・祭日以外は、毎日魚屋の車が 玄関前まで来てくれ、利用者と一緒に選んで夕食のおかず にされている。下ごしらえ、下膳、食器洗い、食器拭き等、で きる方が行えるよう支援されている。正月の雑煮は、利用者 がのどに詰めてもいけないので、事業所では米粉の団子で お雑煮を作っておられる。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 支援している	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) している	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	居室毎にトイレがあり、各自使用されており、トイレを使用する際には、利用者が動く際の音で職員は分かるようで、介助の必要な利用者には職員が訪室して介助されている。退院した利用者で、ご自分でトイレに行きたいと言われる利用者には、ベッドの向きを替えて、ベッドの柵や壁を伝ってトイレに行けるようにされていた。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	十分ではないが取り組んでいる	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	毎日入浴することを基本として考えておられ、体調が悪い時や気が進まないような時は、無理せず次の日に振り替えるようにされている。木製の浴槽を置いて、出入りが難しい方は踏み台やリフトで浴槽に入って温まれるように支援されている。入浴できない場合は、足浴で温まれるように支援されている。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	十分とはいえないが努めている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 努めている	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 十分とはいえないが努めている	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) あまり出来ていない	
			(外部評価) 利用者の重度化のこともあり「利用者一人に、職員一人が付いて対応する必要がある」ため、皆で外出を楽しむことは難しいようだが、利用者の状態を踏まえて数人でペアになり、花見やドライブに出かけておられる。春や秋には、デッキで日向ぼっこをされている。	重度化しても、体調等をみながら、地域の方達と交流したり、季節を感じるができるような機会を作っていかれてほしい。又、ご本人の懐かしい場所や行ってみたいような所を探り、ご家族とも相談しながら支援に工夫をしてみたい。さらにご家族も一緒に外出を楽しむような機会を作ったり、外出の様子等を知らせるような取り組みも、工夫されてみてはどうだろうか。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) あまり出来ていない	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 出来る方は、殆どおられない こちらに家族がおられない方には、時々こちらから電話をしている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			十分とはいえないがしている	
			(外部評価)	
			事業所の各所に季節の花を飾っておられる。言葉が出にくい利用者が、居室にお花を飾ると「きれいだな」と、はっきり言ってくださり、職員は感激されたようだ。畳のコーナーにはこたつやソファが置かれ、利用者がテレビを見て過ごしておられた。裏にあるデッキは日当たりがよく、季節によって日向ぼっこしたり、外の景色を楽しむ等されている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	
			十分とはいえないがしている	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			十分とはいえないがしている	
			(外部評価)	
			元宅老所であったため、各居室にトイレ・洗面所・収納スペースが設置されている。又、入口の扉は、中から鍵をかけることができるようになっており、鍵をかける利用者もいるが、職員が入室する必要がある場合は、外からも鍵を開けることもできるようになっている。体調が優れない利用者が、少しずつ食事をとることで状態が回復してテレビを見られるようになり、職員はテレビを見やすい位置に動かしておられた。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	
			十分とはいえないがしている	